

書籍	方剂名	効能	生薬組成
	主治および証		病機
<b>補益剤 補陰剤 14</b>			
こせんがん 虎潜丸	滋陰降火・強壯筋骨		黄柏 150g・亀板 120g・知母・熟地黄・陳皮・白芍各 60g・鎖陽 45g・ 虎骨 30g・乾姜 15g 細末を蜜丸にし、朝、晩に 10g ずつ塩湯か湯で服用する。
	丹溪心法	<p>&lt;主治&gt; 肝腎陰虚内熱、筋骨痿軟 腰や膝がだるく無力、筋肉が痩せて軟弱、歩行困難、午後～夜間の潮熱、盗汗、舌質が紅絳、少苔、脈が細数など。</p> <p>&lt;病機&gt; 肝腎陰虚・内熱によって生じた筋痿、骨痿である。 肝は筋を主り、腎は骨を主るので、肝腎の精血が不足して筋骨を養えないと筋骨が軟弱になり、腰や膝がだるく無力、筋肉が痩せて軟弱、歩行困難など筋痿、骨痿の症候が現われる。陰虚で内熱が生じると、熱が傷陰するために陰虚が更に進み、筋痿、骨痿も漸次悪化する。午後～夜間の潮熱、盗汗、舌質が紅絳、少苔、脈が細数などは、陰虚内熱を示している。</p> <p>&lt;方意&gt; 本方（虎潜丸）は、筋痿、骨痿に対する方剂であり、滋陰清熱して本治すると共に、強筋健骨により主症状を改善する。 清熱瀉火の黄柏と、清熱滋陰の知母の配合により内熱を清して傷陰を防止し、滋補腎陰、填精補髓の亀板・熟地黄と、補血養肝、養筋の白芍で肝腎を滋補する。虎骨は筋骨を強壯にする。温陽益精の鎖陽、および温中健脾、理气和胃の乾姜・陳皮を加えるのは、知母・黄柏の苦寒敗胃を防止し、滋補して膩滯させないため、反佐の配合である。全体で滋陰清熱、強壯筋骨の効能が得られる。</p> <p>&lt;参考&gt; &lt;医方集解&gt;の虎潜丸は、更に補血養肝の当帰、強筋骨の牛膝、壯陽滋血の羊肉を加えている。</p>	